

文部科学大臣

萩生田 光一 様

緊 急 要 望

自由民主党 河村 建夫 伊藤 信太郎
公 明 党 浮島 智子 富田 茂之

新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が出されてから、文化芸術活動は、一斉に休業が要請され、文化芸術団体・事業団体や文化芸術家・スタッフは仕事や収入を失い、窮迫した状況に陥っています。

今般、緊急事態宣言が39県で解除されたものの、すぐに全ての活動が再開できるわけではなく、特に、舞台・ホールなど多数の人が集まる文化施設等では、引き続き自粛が求められ、再開とはほど遠い状態です。また、再開できたとしても、席をあけて座ることが要請されるなど採算がとれない状況が続くことが予想されます。さらに、今後、感染状況によっては、再び厳しい自粛要請も予想されており、売上・収入もなく出口が見えないまま長期化すれば、我が国の文化芸術、とりわけ実演芸術は、立ち直れないほどの壊滅的状況に陥るおそれがあります。

言うまでもなく、文化芸術の発表・公演の基本には、①文化芸術団体等による長い年月をかけた十分な企画・準備、②公演等に関わる多くの関係者の共同作業のレベルの高さ、③各文化芸術家等一人一人の、長期間の厳しい修練・稽古・研鑽の積み重ね、などにあります。このため、休業要請を受けて公演等を休止するからと言って、(1)将来へ向けての公演等の準備等や、(2)各文化芸術家等の修練等までままならない事態を放置すれば、文化芸術の質・活動の低下は必至です。しかも、公演等の休止で収入が絶たれている今、各文化芸術団体等や各文化芸術家等の個の努力に頼った準備・修練等には限界があります。このままでは、多くの文化芸術団体が解散を余儀なくされます。そのことは、我が国文化芸術の水準の低下へとつながりかねません。今まさに、我が国の文化芸術の泉が枯れる直前の状態です。

また、感染収束後には、我が国の魅力あるコンテンツを多く有する文化芸術分野も、直ちに元の水準で活動を再開し、国民に文化芸術を届け、海外のお客様も惹きつけて、政府のインバウンド関連政策を盛り立てていく必要があります。これには、文化芸術団体等の公演等の準備等や、文化芸術家等の修練等に対する、国からの支援は極めて重要です。

こうしたことから、政府におかれましては、文化芸術活動の特性に鑑み、また、感染収束後、一刻も早く文化芸術活動が再開してインバウンド関連事業が力強く復興できるよう、我が国の文化芸術の水準を維持し質を確保するための予算として、特に、(1)文化芸術家等の修練・稽古等に係る経費、(2)文化芸術団体等の維持・継続、今後の公演等の準備等に係る経費、への支援を強く求めます。

記

国として、緊急に、以下の3点を柱とした文化芸術活動の水準維持・継続・確保のための文化芸術救済支援策(総額 500 億円)を実現すること。

1. 我が国の文化芸術関係者（実演芸術家、スタッフ等、約 10 万人余）に対し、その修練・稽古・研鑽を支援するための活動費（1人当たり 20 万円）を交付すること。
2. 我が国の文化芸術団体・事業団体等（約 2,000 団体）に対し、団体の維持・継続及び今後の企画・準備を支援するための資金（1団体平均 約 1,500 万円）を交付すること。
3. 文化芸術復興基金を創設すること。